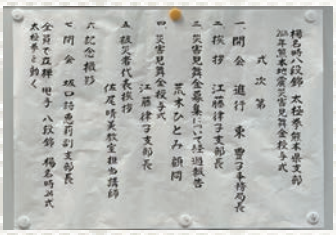


2026年熊本地震災害見舞金授与式

11月7日（土）10時 「八代市鏡町文化センター」にて見舞金授与式を行いました。会場には被災地講師、教室生徒の有志24名、熊本県支部より理事役員12名が参加しました。



2026年7月28日に発生した熊本地震。
10年前の布田川断層による大地震、そして次に来るかもしれないと言われてきた今回の日奈久断層による地震。
地震直後あまりの揺れの大きさに唖然と立ち尽くした日から3ヶ月が経過。熊本県支部は被災に遭った太極拳同学の支えになるよう、被災を免れた熊本県下の教室講師、生徒にお見舞い金の募集を呼びかけました。
また、全国の支部からも心温まる見舞金の申し出がありました。



江藤律子支部長挨拶

7月28日発生した熊本地震から3ヶ月が経ちました。10年前の布田川断層による熊本地震、今回は日奈久断層由来の大地震、地域の環境も変わりつつあります。



先日の熊日新聞では日本製紙のことも掲載されました。存続か停止かで工業都市と言われた八代も揺れています。
熊本県支部では頂いた見舞金を早く被災者に届けようと心一つに作業をしてくれました。募金をしてくれた方の心をしっかり受けとり被災した私たちもこれからの太極拳の練習再開を願って進んでいきましょう。協会本部楊進理事長からも熊本県支部に温かい応援メッセージを頂きました。

災害見舞金募金の経緯についての説明　　荒木ひとみ顧問



激震時の苦難と恐怖に続いて後々までじわじわと効いてくる困難を先ほどの江藤律子支部長の言葉から改めて感じました。
10年前の熊本地震の際には日本健康太極拳協会から手厚い支援を頂きました。その厚情を受け継ぎ支部の仲間の災難を今度は自分たちで支え合おうと話し合いました。お見舞いの気持ちを表す活動を通して心は常にあることを伝えたいと思いました。九州ブロック各県支部から、また縁のある支部や個人から寄せられた支援で今日を迎えることができました。
ご協力頂いた皆様に感謝いたします。

授与式

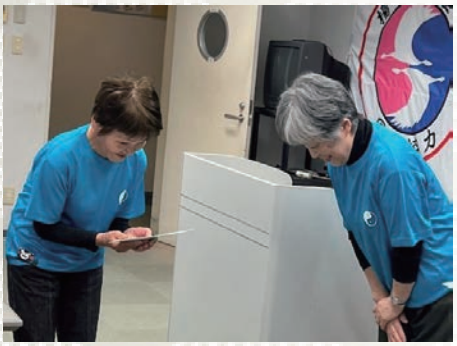


八代（岩見満子・高植芳子・谷口洋子・亀井眞沙子各講師）
宇土（口脇英治講師）
小川（佐尾晴美講師）に江藤律子支部長より災害見舞金が授与されました。













被災者代表挨拶　　佐尾晴美教室担当講師



今日はこのような場を設けて頂きありがとうございました。
心から感謝申し上げます。
今日は 11 月 7 日立冬です。あの震災から 3 ヶ月が過ぎ季節も変わりましたが、まだまだ大変な思いをしている方もたくさんいます。
毎日 40 度近くの猛暑、停電、断水と過酷な日々が続く中、できることから一つずつ復興に向けて歩んできました。
その中で皆さんからたくさんのお見舞いや励ましの言葉を頂き、どれだけ勇気づけられたかわかりません。全国からもたくさんの方がボランティアとして駆けつけてこられ、猛暑の中助けて頂きました。
私は今まで生きてきた中で、こんなにたくさんの人の善意に触れたことはありません。
今回お見舞いを頂いたお仲間の方々、そしてそれ以外の方々にも直接恩返しはできませんがこれから先出会う、困っている人たちを何らかの方法で恩返しをしていきたいと思っております。
本日は本当にありがとうございました。

閉会の挨拶　　坂口詩恵莉副支部長



本日のご出席誠にありがとうございました。こうして皆様の元気な姿を拝見し、共に太極拳ができて大変うれしく思います。７月の地震によって不便な生活を長期間強いられ、ストレスが溜まっていらっしゃる事かと思います。是非、太極拳でストレスを和らげ、穏やかな気持ちで日々をお過ごしください。今回たくさんの方々から温かい応援と見舞金を頂きました。皆さんには日本中の太極拳仲間がいっぱいいる事を忘れずにいてください。一刻も早い復興を心から祈っております。本日はお疲れ様でした。

全員で立禅・甩手・八段錦・楊名時 24 式太極拳





















頑張ろう！くまもと

